

2018
4
(4月15日号)

市民しんぶん山科区版

やましな



今年度もよろしく
おねがいします



山科区役所 検索

平成30年度の山科区における主な事業

やましな輝きプロジェクト

やましな輝き
プロジェクトって？

山科区民の一人ひとりがいきいき
と輝き、活躍できる「住みやすい」
「住み続けたい」まちづくりを推進



山科区の魅力を広く情報発信
「住みたい」「住んでみたい」と感じ
てもらえる「輝くまち」を構築

文化芸術

●能・狂言体験学習

区内小学校の6年生を対象とした
能・狂言の体験学習を実施します。

●子ども音楽体験ワークショップ

身近に楽器に触
れることのできる
ワークショップや
ミニコンサートを
開催します。



●明治150年記念全区リレー講座「土木遺産を巡るウォーキング」(2面に詳細)

健康長寿

●地域における健康づくり事業

健康情報誌「山科健康づくりだより」の発行やがん検診などの受診
を推進します。また、ボランティアや地域団体とともに健康教室を開
催し、お口の機能を保つ「健口体操」や適度な運動を生活に取り入れ
る取組を実施します。



●こころの健康寿命延伸事業

清水焼の絵付けと地産野菜を使ったクッキ
ング等、体験事業を通じて認知症予防に役立つ
生活習慣を提案します。



●健康ウォーキングの推進

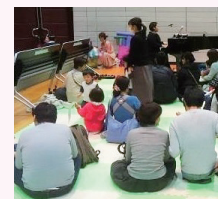
健康づくりサポーター(キャット・ハンズ)と名所を巡る健康
ウォーキングを実施します。
また、山科区公式アプリ「やましなプラス+」において、利用者が日々
歩いた歩数に応じて買い物等に使える「やましなポイント」を付与す
る健康ウォーキング事業を推進します。

子育て



●子育て応援フェア

乳幼児のママ・
パパやプレママ・
プレパパに1日
楽しんでいただ
けるイベントを
山科区保育園ま
つりと共同で開
催します。



安心・安全



●IoTを用いた土砂災害に 強いまちづくりプロジェクト

安朱学区をモデル学区として、土砂災害
に強い地域づくりを目指し、京都大学など
と連携しながら土砂災害情報の収集を進
め、地域防災力の向上を図ります。

●空き家対策の推進

空き家問題を地域を挙げて解決するため、平成30年2月に自治連合会や学識経験者、
不動産業界団体、弁護士等からなるプロジェクトチームを設立しました。今後、空き家の
売却や賃貸等が促進されるよう取組を進めていきます。

●笑顔と花いっぱいプロジェクト・ 防犯カメラ設置促進事業

防犯カメラを大幅に増設するとともに、
区内の主な幹線道路にきれいな花が咲い
たプランターを設置し犯罪が発生しにく
い環境を整備します。

経済

●山科行き旅行商品の開発

山科の見どころを満載した旅行商品
を観光関連事業者の皆様と開発し、観
光客の誘致を図ります。



●京焼・清水焼の魅力発信プロモーション

山科が誇る伝統工芸品「京焼・清水
焼」の魅力を広く全国の方に知って
いただき、購入につなげていくためのプ
ロモーション活動を展開します。

問合せ 区総務・防災担当(☎592-3066)

東山自然緑地の再整備

区民の憩いの地となっている東山自然緑地を、ト
イレやベンチ、園路等の整備や、桜などの樹木の植栽
を通して、「花木を楽しめる京都の新しい花の名所」
に再整備を行います。

平成30年度
は、安朱橋から
西側について順
次整備を進めて
いきます。



春の琵琶湖疏水沿いの東山自然緑地

問合せ 市みどり政策推進室(☎741-8600)

京都刑務所(国有地)の活用の検討

京都刑務所は、昭和2年に、当時はまだのどかな田園風景が広が
る現在地に移転されましたが、その後90年が経過する中で宅地化
が進むとともに、地下鉄東西線や京都高速道路が開通し交通利便性
が飛躍的に高まるなど、周辺環境は大きな変貌を遂げました。

現在、市内の都市部で約10ヘクタール(3万2千坪)という広大な
土地を確保することは極めて難しく、京都市では、この土地の活用が
山科区の魅力あるまちづくりはもとより、京都全体の発展にも大きく
寄与するものと考えています。

このため、これまでから、国に対して刑務所の移転をはじめとし
た有効活用を要望してきましたが、今年度に、区民の皆様のご意見
等をお聞きしながら、山科区の将来像とまちづくりを見据えた跡地
の活用案を取りまとめることとしており、国に提示していきます。

問合せ 市プロジェクト推進室(☎222-3984)

これらの事業を通し
て、魅力ある山科の
まちづくりを進めて
まいります。



京都市長
門川 大作

